

第4回北見交通圏タクシー事業適正化・活性化協議会議事録

日 時：平成23年2月24日 14:00~15:30
場 所：北海道運輸局北見運輸支局 2階会議室
出席者：委員 14名、事務局 3名、オブザーバー 0名
マスコミ：新聞社 1社

【事務局長（東雲）】

定刻となりましたので、只今から第4回北見交通圏タクシー事業適正化・活性化協議会を開催いたします。これからの会議進行は、事務局説明及び各委員の方の発言につきましても、すべて着席のまま進行させていただきたいと思っておりますのでご了解をお願いいたします。

私は、本協議会の事務局長をしております北見市ハイヤー組合の東雲と申します。議事に入るまでの進行を務めさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

本日は、ご多忙中、委員の皆様方にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。事務局から議事に入る前に報告等があります。配布資料の確認を含めてお願いいたします。

【事務局（山口）】

事務局をしております北見運輸支局 山口と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。あらかじめ、報道機関の皆様をお願いいたします。議事に入りますまでは取材可能とさせていただきますが、議事の開始時点においてご退出いただきますことをご了解をお願いいたします。

本日はオブザーバーの方は出席しておりません。北見タクシー社長の平子委員がご欠席されております。金星ハイヤーの馬場委員、北見労働基準監督署の小林委員、三輪観光の山田委員の3名が代理出席となっております。後ほどの資料確認の際、座席図にてご確認をお願いしたいと思います。

本日は1名が欠席されておまして、代理出席3名で委員総数15名中14名が出席されていますので、本協議会設置要項第5条第13項に規定される構成員の過半数が出席しておりますので、本日の協議会が成立していることを先ずはご報告いたします。

それでは、お手元の配布資料の確認をさせていただきます。先程もお話しましたが、座席図が1番上になっているかと思います。失礼ながら代理出席の方についてはカッコ書きで表記しております。次に、議事次第、本協議会の委員名簿、本日の出席者名簿となっております。本日は代理出席を含め14名の委員と事務局が3名で進めていきたいと思っております。

A4横の「資料Ⅰの特定事業計画の進捗状況、資料Ⅱの事業再構築の進捗状況、資料Ⅲの地域計画における特定事業等（抜粋）」を配布しております。資料に不足がございましたら、お申し出下さい。よろしいでしょうか。

前回（第3回）の開催が3月でしたが、年度が改まったことなどによって委員の方で異動がございますので、ここで変更のあった委員の方をご紹介したいと思います。

座席図をご覧くださいまして、以前は、北見市企画財政部次長の皆川和雄様に委員をお願いしておりましたが、交通担当部署の変更が4月にあったということで、今回は企画財政部地域振興室長の川名敦文様に委員をお願いしております。次にそのお隣にお座りの北見商工会議所、以前は戸田龍一様が委員となられておりましたが、昨年11月に交通観光委員会の改選が行わ

れまして、そこで今日お越しになっている山本忠司様が交通観光委員会の委員長になられまして、引き続き、委員に就任していただけることをご了解いただきました。山本委員につきましては北見石油販売株式会社の代表取締役をなさっております。それから本日欠席されております北見タクシー代表であります平子さんが今回委員に就任なさっております。ハイヤー組合理事長になっております北交ハイヤー社長の末松さん、以前は職務代行者という形での委員になっておられたんですけど、5月に社長となられまして、そこで理事長に就任して、職務代行者としての出席ではなく委員としての出席という形になっております。その5月の役員就任に合わせて、本日欠席しております平子社長が5月に社長になられ、理事に就任しております。本日は所用で欠席しております。以上でご紹介と資料の確認を終わらせていただきます。

【事務局長（東雲）】

議事開始にあたりまして、当協議会会長から発言をお願いいたします。

【会長】

第3回が昨年3月ということで、一寸時間が空きましたけど、第4回協議会の議事に入りたいと思います。これからの進行を座長、よろしくをお願いいたします。

【高橋座長】

座長の高橋でございます。今、お話しがありましたとおり、昨年3月から1年間経過しておりますが、第4回の北見交通圏タクシー事業適正化・活性化協議会を行いたいと思います。

基本的には今回の協議会は、前回のフォローアップという位置づけで開催したいと考えてございます。地域計画が前回策定され、5月以降、順次各社の特定事業計画が申請され、それが承認されまして、現在は各タクシー事業者皆さんが認定された特定事業計画につきまして、その事業に取り組んで頂いているところでございます。

この事業計画の中で、特にこれをやりたいという重点化を考えまして、それを含めまして本日の議題は北見交通圏における地域計画の進捗状況を事務局からお話頂きまして、それに関して皆様からご意見を頂き、更には来年度に向けて、どういう風に進めて行ったらいいのかを皆さんにご意見を頂きたいと思っております。

資料は一部綴じた物だけですので、最初から最後まで全部説明頂いて、全体を通して議論していきたいと思っております。それでは、まず事務局より資料の説明をお願いいたします。

【事務局（山口）】

特定事業計画の進捗状況としまして、本地域計画の中で特に実現を早急に求めるとされた3項目がございます。一点目としては北見交通圏における全者を対象とした禁煙タクシーの導入がまず1点、第2点目としてサービス向上のための運転者教育、研修の実施をしていきたいと思います。3点目としては北見中心商店街での買い物客を対象にしたタクシー乗り場を確保していきたいと思います。場所的にはマイカーも駐停車ができるスペースの一部にタクシー乗り場が設置できないかということで、場所は北2条西2丁目近辺ということになっておりました。この3点が、前回の3月に地域計画を策定しましたが、その中でも最重点項目ということになっております。

3ページ目をご覧ください。法人タクシーの事業者から、こちらの方に特定事業計画の認定を受けるため、申請があがって、認定を受けた項目を載せております。これの1番上になっていきます北見交通圏における全車を対象にした禁煙タクシーの導入ということで法人5社全社認定を受け、4ページ目に飛びますが、こちらの方は個人タクシーの特定事業計画の認定状況を載せております。ほぼ1番上なんですけども法人事業者と同じように北見交通圏における全車を対象とした禁煙タクシーの導入。個人タクシー26者ありまして、23名。なぜ3人数字が減り、全員でないかと言いますと、下の※印にありますように26名中3名につきましては、禁煙タクシーを特別措置法施行前に、既に禁煙タクシーを実施している方が3名ありまして、その方があえて認定を受けるということにはなりませんし、既に実施しておりますので、それで23名という数字になっております。この禁煙タクシーにつきましては、皆様方新聞等でご承知かとは思いますが、8月1日から実施されております。乗り場の方には、禁煙についてのご協力のお知らせ等を目にされている方が多いのではないかと思います。

その禁煙タクシーを北見で行ったことを受けまして、北見では良いことを行っていると、北見が実施したことによって、他の地域でも、これからされるという情報をつかんでおります。紋別市では法人タクシー2社ありますが、2社共この4月から実施予定です。網走市においても法人タクシー2社ありますが、揃って5月から北見と同じように全面禁煙化を計画していると聞き及んでおります。ですから、この北見のタクシー協議会の成果として、それが他の地域にも波及している一つの例としてご紹介申し上げます。

次に重点項目とした2点目として、運転者教育、研修の実施なんですけども、また3ページ目の方で行きますと、2段目の方になります。サービス向上のための教育、研修。各事業者が個々に行うもの。それに併せまして、下から2段目になりますけども、観光に係るドライバー教育及び指導で4社が法人タクシーで認定を受けております。更には、短距離ワンメーターを歓迎する運転者教育、「お気軽にどうぞ」の呼びかけも含めた運転者教育というものが各社で実施されているところです。

4ページ目の3番目の観光に係るドライバー教育及び指導。こちらも26名全員が認定を受けまして、お気軽にどうぞを呼びかける利用者へのPRも含めて実施しているところです。

この観光に係るドライバー教育については、多大なる北見市観光協会のご協力があって開催されているところです。既にこちらも3ページ目、4ページ目それぞれ※印で下に表記しておりますが、法人タクシーについては8月と11月にこれまで2回開催されております。個人タクシーについては12月と2月の2回実施しております。2回で終わることなく、これからも第3回目、第4回目と引き続き、観光に係るドライバー教育の研修を実施していくと報告を受けております。

重点的に実施しなければならないとされた3点目として、タクシー乗り場を北2西2に設置出来るかどうかということで、事務局で6月に、タクシー乗り場を設置しようということで、北見市さんと商店街の方に事務局でどうでしょうかということで、先ずは北見市さんの方にご相談にあがった際は、実際の管理は道路管理課の方で行っているということで、商店街がよろしければ北見市としては何ら問題はないと回答を頂いておりました。

改めて確認のために道路管理課の方にもお伺いしましたが、その時にも、縁石とかが壊れた際は、道路管理課の方で補修したりすることになりますけども、通常の保守管理については北見市と商店街振興組合一番街、二番街との3者で協定を結んで、実際の日々の管理は商店街の

方で行うということになっておりまして、実際のパトロールであったり、あと利用なさった方があったら目にしているかと思えますけども、その場所には15分間のご利用でお願いしますとの表示を柱にしており、(商店街が)30分を超えるような駐車をしないよう速やかな移動を周知しております。

その後、商店街へ出向き相談しましたところ、その場所にタクシー乗り場があるという事は非常にいいことだ、電話で呼ばなくてもいい。ただ、適当と思われる場所、商店の方の承諾を取ってください。承諾が得られれば、タクシー乗り場として1台分提供する事はよろしいとの内諾を頂いたところです。

設置にあたって、適当と思われる場所の商店さんに、事務局でお伺いしまして、設置要請をしましたが、ご理解を頂けなくて、タクシーが停まっているために来客者の車が止められなくなってしまい、タクシー利用のお客様には私どもでタクシーを呼んでおりますとの話もされておりました。

現在、その場所は、ハイヤー組合の自主規制でタクシー1台が停まっていたら次の車は入らないこととしておりますし、15分を超えてもお客様が無い場合は速やかに移動することを徹底しております。

専用のタクシー乗り場とする事が難しいのであれば、優先乗り場というか、ここではタクシーが利用できますとの標識ポール設置要請もしましたが、何か進展があれば連絡して下さることになっていましたが、結局、連絡はありませんでした。

この結果を事務局からハイヤー組合に報告しましたところ、更に要請をかけていくと、現在1台利用していることもクレームになってしまう恐れもあるため、断念する事となりました。

次に、事業計画に併せ、各社さんの判断によりまして、事業再構築(減車)の申請が10月以降なされております。実際は20両の減車をしておりますが、基準車両数の191両からの減車数は19両となり、減車率は9.9%となっております。

平成22年4月から12月迄の輸送実績と前年同期を比較してみますと、運送収入が402万7千円増加しています。また、運送回数も同様に7,500回程増加しております。これは、禁煙タクシー、運転者教育等のサービス向上のための取り組みにより、利用客が増加したのではと思っております。ただ、減車による効果は、10月からの実施であるため数値には表れていませんので、今後の実績の推移を見守っていきたいと思います。

また、実車キロは若干伸びていますが、空車キロは減少しておりますので、効率的な運送がなされていると思っております。

【高橋座長】

ありがとうございました。

面白いデータも出てきていると思えますし、これから皆様のご意見を頂きたいと思えます。

大きく分けると、先ず一つは、地域計画の中で是非これを早期に実現したい3項目をお話し頂きました。その進捗状況について、禁煙タクシーの方はかなりうまくいっている。運転者教育も観光協会さんも含めて連携をしながら、うまくいっていると思えます。しかし、中心商店街のタクシー乗り場に関しては、なかなかうまくいかないのが、これはやりたいと思っても色々ありますし、今後どうしていこうかなということがあろうかと思えます。

更に、4月から12月の運送収入の実データが示されました。収入は400万円ぐらいアッ

プしている。それから10月以降12月までのデータは出ていますが、1月から3月のデータはまだですので、これに関しては少しずつ変わってきていると思う実績の分析を運輸局の方でされと思いますが、皆さまの生の声を頂いて、その現場感覚でもって今後どのような視点で数字を見ていったらいいのかを是非お伺いしたいと思います。

それも含めて、今後、昨年3月に協議会で決めさせて頂きました地域計画の中で、こういう点は来年度では是非力を入れて推進しなければいけないだろう、更には、こういう点は少し考えを変えて、やり方を変えて推進していったらいいんじゃないか等の今後に向けてのご意見を頂きたいと思います。

それでは、最初のポイントであります禁煙タクシーは、既に実施していた個人業主の方も含めて全車禁煙となった訳ですが、実際の利用者の方とか皆さま利用する立場になって考えて、あとは皆さまの周辺から、こういう事を聞いたとのご意見も含めてお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。ドライバーさんの方で、何か特にトラブルがあったとか、タバコ吸わせろとか色々大変であったという点が、ありましたらお伺いしたいと思います。いかがですか。

【北交ハイヤー労組 堀田委員】

禁煙タクシーは、昨年8月1日から実施しまして、当初ドライバーの中でも、昼間よりも夜に乗るお客さんからクレームが多いのではないかとのお話がされていたが、半年経過して今のところ、クレームは多少はありますが、「タクシーで吸わせてもらえないのか。」との運転手とお客様の中で解決できるようなもので終わっております。

ハイヤーという業種上、どうしても交通弱者を輸送することが、日中は特に多いんです。例えば、喘息等の持病持ちの方にとってみると、禁煙にした事で車内のタバコの臭いが全く無くなって非常に清潔感があるとの意見も聞かれていますし、小さいお子さんを保育園・病院へ送り迎えする場合でも保護者の方から大変好評を得ています。

こういったことが、微々たるものですが右肩下がりの時代において、営業収入の増加に繋がっていると感じております。

【高橋座長】

ありがとうございました。

全体的に下がっている中で上がったというのは、これだけでは無いかもしれませんが、かなり大きな位置を占めていると私も思っていますし、事務局からも話があったとおり、紋別市や網走市の方でもこういう流れが出来てきたということは、北見市で全車がやった、半分とかある部分がやったのではなく全市的にやったのが大きいと思います。

【北交ハイヤー労組 堀田委員】

そうですね。非常にそれは、ベースを作ったんじゃないかと思います。

【高橋座長】

その他、委員さんの方から、何か禁煙タクシーに関して、こういう意見もあるというのがあれば、頂きたいと思います。

【商工会議所 山本委員】

私は吸わないから、特に、乗せて頂いた時は臭いが分かる。最近臭いが無くなりましたね。大変、歓迎です。私ばかりでなく仲間と話していても、この話題になると吸っている本人もいいことだなど、企業でも禁煙は当たり前の社会になっていますので、ドライバーさんの方で吸う方がいれば大変だろうなと逆に思います。

【北交ハイヤー 末松委員】

禁煙タクシーをやる前は、乗務員はタバコを吸いませんというのを当社はやっていました。それで、お客さんから注文頂くときに、「タバコの臭いのしない車をよこしてくれ。」という事がよくありましたが、今はタバコ吸える車をよこしてくれとのお客さんは一人もおりません。公共交通として、禁煙は当たり前なんだということが広がっていきまして、タバコ吸いながら来たお客さんでも外で消して乗ってくれています。運転手さんもトラブルが無くて、助かっていると思います。歩きながら吸っていてもタクシーのところに行ったら駄目なんだと、バスもJRもそうですし、完全にタクシーイコール禁煙なんだということが確立できたと思います。

【高橋座長】

ありがとうございました。

全車でやったのが、非常に大きな事だと思います。北見のタクシーは全車禁煙というイメージが、かなり定着していったんじゃないかと思います。

次に二つめの重点課題として、サービス向上のための運転者教育、特に観光に係るドライバー教育・指導に関して、実施状況やドライバーの意識がこう変わったなどのご意見を頂ければ、更にそれが、利用増に跳ね返ってくるといいのですが、そのあたりも含めてお願いします。

【観光協会 高橋委員】

正直申しまして、2回ぐらいでは結果は出ません。後退するだけです。やはり、根強くやっていくしかない。小学校1年生の方に申し訳ございませんけども、いきなり九九を全部2回で覚えれということと同じですから。

【高橋座長】

でも、こういう機会を設けて頂いたというのは、是非今後とも継続が重要なので、やって頂きたいなと思いますが、事業者さんの方でいかがですか。こういう教育を受けるような、会社としての取り組みはどうでしょうか。

【金星ハイヤー 松田委員】

観光研修で、観光協会の高橋さんにお世話になり非常に助かりました。当社としても地方へ小型車で出る場合の観光研修は、以前も年に1、2回実施していました。それは、郊外（知床・網走）という部分でやっていました。

高橋さんには、「地元で根ざした、地元のお客さんへも、こういう店があるよ、ああいう所もあるんだよ。」という部分を教えられまして、非常に勉強になりました。

【高橋座長】

今後も、会社としても継続していくという事ですね。

【金星ハイヤー 松田委員】

そうですね。

【個人タクシー 木戸口委員】

個人タクシーも観光に係る講習会を2回実施しました。個人タクシーは意外と観光をやって
いる方が多いものですから、高橋さんも色々苦労なされたと思いますが、講習会終了後に印象
的だったのが、一事業者から「白花豆の甘納豆は、何で北見で売っていないのか。」との意見
が出まして、「同じ北見市になったのに、温根湯まで行かないと売っていない。」と言われたこ
とです。このような一寸した意見交換をやった方が、いいんじゃないかなと思うんですね。

石北峠の頂上からオホーツク海まで、一番長い市なんですけど、「同じ市になっても、そこ
の特産物が北見市で手に入らないのは不満だ。」という意見もありました。

講習会という堅苦しいものよりも、一寸した話し合いというか、意見の交換をした中で勉強
になるのかなという気がします。

【高橋座長】

やっぱり、多分、観光者の情報を吸い上げるのも、タクシーの役目かなと思います。

【観光協会 高橋委員】

目的は、そこなんですよ。

いかにお客様が、地元の方も然りですが、他から来られた観光客のニーズをどうやって、一
人一人のドライバーさんがキャッチ出来るのかということだと思います。

木戸口理事長からありました白花豆の甘納豆については、早速、北見自治区内で販売できる
ようなスタイルをお願いしたいなと声かけがありましたし、そういうような事が一番大事だと思
います。

いろんなレベルの方がいらっしゃいますが、タクシーばかりでなく、ガソリンスタンド等観
光に関わる全体で、観光に来られた方々に対するサービスを考えた方がよろしいと思います。

札幌で開催された講習内容を見させて頂きました。正直申します、絵に描いた餅ばかりで、
あれは必要ないと思っています。それより、今やっている地道なキャッチボールが出来る機
会をたくさん設けていく方が観光客にとっては一番大事だと思っています。

【高橋座長】

是非、それを続けて頂いて、この計画も地域計画となっていますので、観光だけでなく、ま
ちづくりに如何に繋げていくのかまで関連していくと思います。是非、利用者の情報をうまく
吸い上げて、それを波及していけるような、単にドライバーの教育だけにとどまらない一つの
やり方になっていけばいいなと思います。

北見市さんで、何か観光を含めてのまちづくりでのご意見はございますか。

【北見市 川名委員】

北見市全体を見回してみますと、色んな所でバスが走っていますから、比較的、交通事情はいいのかなとの認識でとられるのですが、市内の中でもバスの走っていない部分がありますし、郊外に行きますと特にバス路線から遠くなっているし、そういったことで困っている方が沢山いらっしゃる。1月末に、初めて地域公共交通会議を立ち上げまして、これからは北見市の中で交通不便地をどうやって解消していこうか、路線バスが走っていない空白地をどう解消していこうかとの議論をしていこうかと思っております。

これからは、バスが走っていない所は、タクシー業界の方に非常に大きな協力をして頂かなければならないのかなと思っております。色んな面で、ご協力の依頼をしていこうかと思っております。

先程、禁煙タクシーの話がありましたが、実は私も元々タバコを吸わない者ですから、昨年8月から事業が進んでいることも知りませんでした。言われてみると、タクシー乗っても、最近臭いもしないなと今感じたところです。タバコに関して言えば、レストランや居酒屋でタバコの臭いがしてくると非常に不愉快となる。ホテルの中でも、タバコの臭いが残っていると、どうしても不愉快となるものですから、禁煙室をお願いしますとの要望もしています。

これからも、こういった取り組みを進めて頂きたいなと思っております。

【高橋座長】

ありがとうございました。

【会長】

川名委員（室長）さんにお願ひがありますが、地域公共交通会議が立ち上がったということですが、このタクシー協議会で出来なかった北2西2のタクシー乗り場について、ぜひ取り上げて頂き公共交通を利用して頂くことにより、まちづくりの観点・商店街の活性化を含めて乗り場を設置できるようにして頂ければありがたいなと思っております。

一番街・二番街の理事長さん方には「商店街にとっては、とても良い事である。」と言って頂いておりますので、是非、観光協会さん商工会議所さんも一緒になってやって頂ければと思っておりますので、よろしくお願ひします。

【高橋座長】

今回は、ピンポイント的にうまくいかなかったのかなと思っておりますので、少し面的に見ることも重要かなと思っております。今回ターゲットとした所は、元々車が走っていないところであったものですから、1回車を走らせて更には車を停めるという、今までの構造的にまだ色々と考えているところもあると思っておりますけども、どちらにしましても「車は走って停まる」ものですから、走るとこだけの整備だけでなく、停まるところも今後考えていかなければいけないなと思っております。当然これから高齢化になった時に、より使いやすいタクシーのあり方を考えた時にタクシーの停まる場所が重要なポイントだと思っておりますので、まちづくり全体で面的に考えていかなければと思っております。

今、色んなご意見を頂きました。プラスの面が皆さんからお話しがあって、それだけの結果だけではないんですけども、収入的には上がり気味になって、全て右肩下がりの時代から少し

上がってきているというのは、ある意味特筆されることだと思います。これから冬場の実績データが出てきた時に、どういう風になるのかを一寸考えなければいけないと思いますが、今のところは上向きかなと思います。これは、事業者さん、更には利用者、全体を見ていらっしゃる方も含めて、決して大きな数字ではないんですけど、この感覚というものに関して何かご意見があれば頂きたいと思います。いかがですか。

【北交ハイヤー 末松委員】

この収入増に繋がったのは、減車ということも考えながら、ダイヤをどうやって効率的に動かすか、人の配置の仕方、色々考えた中で会社の努力、禁煙タクシー、また、観光に係るドライバー教育、また、サービス向上の教育というのは日頃から点呼では挨拶「いらっしゃいませ。」から始めて「どちらまででしょうか。」を必ず復唱させる。それも根付いてきて、みなさん、やって頂ける。そして「お近くでもどうぞ」の呼びかけを行い、今までやっぱり近くでもいいよとお客さんに言っても運転手さんの顔がちょっと変わったりしたこともあったんですけども、北交ハイヤーはシートカバーに「お近くでもどうぞ」を入れたり、他社ではステッカーを作ったりしています。

今まで近くのお客さんは遠慮して、バスでも待つてようかという方も気持ちよく乗せてくれるんだと、利用して下さるお客さんも多少増えたのかなと思います。

【高橋座長】

減車の効果も出ているし・・・

【北交ハイヤー 末松委員】

減車の効果とは言えないけども、それに向き合って、車の配置を変えながらとか色々そういう工夫をしている。その減車の効果で数字が上がったとは見ていないんですけど、色々やっていきながらお客さんも乗りやすくなったのかなと。

【高橋座長】

色んな効果が複合的に出てきて、というか、出すようにしていると言う事ですかね。

【石川観光 石川委員】

私の会社は小さな会社でありまして、社員教育といっても20人もいない会社なんですよ。

前も言ったと思いますが、車も同じ、料金も同じ、営業エリアも同じ中で、運転手さんしかいないんですよね。結局、運転手さんが、如何にきちんと乗務員教育がなされて、利用してくれるお客様方に、きちっとした社員教育をしていることをアピールするしかないのかなと。如何せん、小さいところは小さいなりに、乗務員が少ないということなので、そういう教育の徹底というのは一応しているつもりです。

観光協会さんとタクシー業界との連携は、必要じゃないかなと思います。やっぱり、私達、地元にいると、目が曇っちゃっているというか、観光資源にしても、特産物にしても、景観にしても、色んな面で、ああ、こんなものかなとしか思わないんですけど、地方から来た観光客のお客さんは感動もするだろうし、タクシー使って頂いたり、北見に来て頂いたお客様・

観光客に対しては、きちんと公にアピールしていくのが大事だし、その為には観光協会とタクシー業界との連携が必要なのかなと考えています。

本当に何か、発信していかなければ駄目ですね。オホーツク塩焼きそばもありますけど、最初は何なのという感じが、頑張ってみんなで発信していけば、何とかかんとか形がなってB級グルメに。無いものから有を作るというのは、みんなで協力してやっていかないと、形として出来てこないと思うんですよ。そういう面で、情報の共有化、連携というのは必要だとは思いますがよ。今日、出席して頂いている皆さま方との連携も。

【会長】

今年のS - 1グランプリが北見市で開催されることから相当数の方々が来られる。会場への足の確保を先にやらないと大変ですよ。場所もそうでしょうけど、バス会社も含めた足の確保が必要です。

【石川観光 石川委員】

そういう面で、利便性というのですね、折角、観光客のお客様が来られたのに、観光協会の方がいい企画をしてくれても、それに対して私達機動力がきちっと充実していないと何なのという形になります。最後は、ああ、来て良かったなとなる為に、各団体が連携してやっていくのが一番重要だと思います。

【高橋座長】

是非、今年は特に機会が多いですね。観光協会と運輸業界、バスとタクシーの連携も含めて、当然、交通規制の話も出てきますし、色んな形でこの会議を只単に地域計画という、ある意味、最後にお話ししようと思ったんですけど、色んな項目をやるっていうのも、結局は何に向かってやっていくのかというところが、はっきりしないと、ただ項目をやればいいとなりますので、是非、この計画が何処に向いていくのかを含めて、この場だけではなく、情報共有していったらいいなとも思っています。是非、よろしくお願いします。

【商工会議所 山本委員】

商工会議所の委員会が始まったばかりですが、その中で、点で捉えないで面で捉えろと、観光ってすごい難しいですね。具体的に、経済効果が少しでも出るような事を考えていこうということで、局長の話を聞くだけで1年が終わるようでは何もならないじゃないかと。

例えば、スポーツの団体とか、文化系の団体とか、相当北見に入ってきて来ますよ。全国的にやっぱり、元は、誘致合戦をして来てもらっていたのが、今は誰か受け入れてくれないかとの状況もあるんですよ。その団体と観光ですね。スポーツの場合は、1回戦で負ければ、3日間の予定で来ていますから1日空いちゅうとか、半日空くとかする。それとの組み合わせ。他には、体験も色々あるかなと思うんですよ。出張者の方でも、観光の捉え方をすること。それから、北見だけではなくて、面ですよ。この間の委員会でも、出先の支店長さんが何人もいらっしゃって、北見駅で何感じますかと観光についてお聞きしたところ、点じゃなく面だよねと、佐呂間に言ったら何があるよねと、我々には気付かないけど魅力があるんですよ。

雪だるま作りのコンテストなどと組み合わせ、1日コースとか半日コースの観光をまとめ

ていこうやと、3年間研究していこうとの方向付けをしています。おもてなしの心が、北見はちょっと今一ではないかとの話もありました。そうすれば、皆さんと関わり合いもあるので。正月から地元紙とか道新の切り抜きをいっぱいして、全部仕分けして、それを生かす方法がないかと思っています。皆さんからも、そういった情報があれば頂いて、現実一步近づくなと。委員会でも3年間活動していこうと思っていますので、タクシーさんの話もそうなれば、タクシーさんと連携がいるなと思いました。

【観光協会 高橋委員】

今、スポーツのことで、あと、塩焼きそばの大会がありますよとのこと、法人さん、個人さん共に確認をさせて頂いていますが、我々が持っている情報、今お話しさせて頂きましたら、北見でやります北海道新ご当地グルメの大会場所、これは7月の2日・3日、まだ制作発表にはなっておりませんが、端野の公民館前で行います。

昨年がビールでございました。ビールの方で、約1万3千人来られるとなっておりますが、約2万人を集めるとしております。そこで色々な問題点があります。殆どの方が、マイカーで来られる。利便性の事もありながら、最終的には端野しかないだろうと落ち着きました。

そういうような情報ですとか、大会に関しては、小・中・高・大人・社会人ですね。合宿だけでなく、そういう大会の部分が入ってきている。そこで、どうしても屋外の競技となると、東陵運動公園をベースにして大体一ヶ所となりますが、屋内の競技（バスケットボール、バレーボール）となりますと、会場がばらける。そのような、ばらけるところも全て、我々が知り得る情報、実行委員会から「会場は此処で何名ぐらいのチームが入って」の全部を事前にお渡しさせて頂きます。そうすることによって、実車率の向上に繋がるかもしれません。

我々として、ただありますよという情報だけではおぼつかないんで、必ず、小学校、中学校ぐらいになりますと、バス移動で来られる方が殆どです。じゃあ、そこにバスで来ますよとか、そういうものを付けてあげますと、実車率が上がると我々は思っております。

そこまでの情報をとにかく、我々が知っているものを情報提供するというのが一番必要だという風に思っております、ここが一人一人のおもてなしの心というか、ホスピタリティという風になるんでしょうか。そこら辺が、スピードアップされて、最終的には皆さん、儲けてなんぼですから。絵に描いた餅は、いくらやっても駄目なんで、儲けてなんぼという効率的なところを皆さんで考えましょうということだと思います。

情報の提供は、どんどんどんどん私はさせて頂きます。でかいものもまだあります。これは発表できませんけれども、3月過ぎましたら、こういうものがまたありますよと知らせもしません、タクシーさんの方へ全てお話しさせて頂きます。

シャトルバスが駐車場からどのような運行系統となってくるのか、「S-I（俗称）」も地元で7月にあります。そういうものも全部お話しさせて頂きます。そこで、皆さまの知恵袋として使って頂きたい。これが、今、私がタクシー業界様と一緒にやっていくステータス、認定カードは要らない。

【高橋座長】

ありがとうございます。

貴重な情報を頂きまして、端野でやると非常に大きな事が起きそうですね。

【観光協会 高橋委員】

絶対、楽ですよ。端野の方が。

案内するのも333と39号だけで、一番誘導しやすい、駐車場の人員配置が簡単。

【会長】

端野から北見市内に呼ぶようなイベント等は何か予定されているのでしょうか。

【観光協会 高橋委員】

場所がまず取れなかったという部分、駐車場の問題、ちょうどその時、銀座通りでは、商店街を中心として七夕祭りを開催する。そのピストンをどういう風に考えるか。

【高橋座長】

知恵を使って、タクシー回復の為にやって頂ければと、それが一番の活性化の方向だと思います。

【観光協会 高橋委員】

ガソリンスタンドさんにもお願いしなければならないことがあるんです。

【高橋座長】

場所は、此处ですとか。

【観光協会 高橋委員】

こういう風に、この場所ですよというのを何処か分かるような所に、セルフでも何処でもいいですから、掲示して頂けるのが第一点。

【高橋座長】

(二点目は) 道案内。

【観光協会 高橋委員】

観光客にとって、大事な事だと思います。ポスター1枚でいいんですよ。

【商工会議所 山本委員】

分かりました。

【高橋座長】

情報提供して頂くというのも、この協議会の一つの、これは年に数回しか開かれないので、多分、この場を介して知り合った方達で色々と情報交換して頂きたいなと思います。

それでは、今の話はまだつきないと思いますので、先程もお話しさせて頂いた事業再構築、減車の話ですね、今、色々情報があって、どんどん色々な事をやりましょうとの話の一方では、

やはり、協議会の一つの大きな使命、ミッションというか、事業再構築（減車）に関して、今回は192台のうち20台ですから、1割ぐらいですが、これに関して事業者さんの方、更には労働組合の方も色々プロセスも含めて、何かご意見があれば是非頂きたいと思いますが、いかがでしょうか。

【北見金星労組 三浦委員】

昨年10月から、当社においても1月15日一杯で10%ですね、計6台の減車を行いました。これは、会社の独自の判断だと思うんですけど、私ども組合の立場でお話させていただきます。やはり、タクシー労働者というのは、大変厳しい状況に置かれているんです。その中で、やっぱり、減車により1台当たり少しでも売上げが上がれば、労働者の収入に返ってくると思いますが、減車については大変喜ばしい傾向だと考えております。

逆に言いますと、タクシー業者さんのことを考えれば、多少、繁忙期においては不便をかける懸念もありますが、サービスやその他の色々なことにおいて、利用者さんに理解して頂けたらと思っております。

【金星ハイヤー 松田委員】

減車に関して、当社では、乗務員さんのダイヤの設定をある程度変えた中で、繁忙時期、繁忙日に対して如何に稼働させるかという形で、日勤・夜勤・隔日勤務を動かす中で、繁忙日に如何に稼働させるかを考えております。当社の三浦委員長も話があった中で、如何に乗務員さんに収益を上げてもらうか、その中で考えるのが繁忙期ですよ。利用者さんに対しては、若干、ご迷惑をかけた部分は確かにあるかもしれませんが、例年から比べて、本数に関しては若干の下がりがあったものの、まあまあ例年通りの繁忙日の稼働が出来たのかなと思っております。これから、人員的にうまく合わせた中で売上げを上げたいと思います。

【高橋座長】

ありがとうございました。実質的には、11月からということで、このデータも初期の立ち上がりのデータであって、今年の10月まで少しの間見ながら、収入とコストがどうなっているのか、ピーク時の利用者の不満等を総合的に捉えないと、なかなか10%減車しました効果がすぐ表れるというものではなさそうですので、少し1年間を通して、分析の視点もこれから何回か協議会が行われますので、皆さんのお知恵を頂きながら、メリット・デメリットあると思いますので、その辺りも含めて皆さんのご意見を頂きながら、効果の検証をしていきたいなと思います。

今回のデータだけで、これで効果があったとの話にはならないと思いますので。これから色々大きなイベントもあるし、その時に、色々な観点から見て頂きたいなと思います。

その他減車に関してご意見があれば頂きたいと思いますが、いかがですか。よろしいですか？。それでは、三つ目の議論として、特定事業計画全般ということでありましたけども、個別の話は17ページ以降載っています。これに関して、今の時点でご意見があれば頂きたいと思います。いかがでしょうか。

これも、私、いつも思うのですが、事業計画って一回立ててしまうと、これを絶対やらなきゃならない感じになってしまう。今、色々な方のご意見を頂きますと、少し観点を変えてとか、

一回やってみて、この方向ではうまくいかないものであれば若干変えるとか、これだけずっと推進する頑な感じじゃなくて、所謂PDCAを回すような形で、これが駄目だったら違うやり方もあるのではと少しフレキシブルに考えた方がいいのかなと、今、聞いていました。

何かご意見があれば頂きたいと思いますが、いかがですか。

【観光協会 高橋委員】

よく来る問い合わせの一つに、「温根湯温泉に行きたい。」があります。バス路線が非常に悪いんですね。一日の本数は、直行が6本ぐらいだったと思います。列車で行って留辺蘂からいくらかかるのですかと、結局同じなんですよ。何とか、温根湯温泉・ポン湯温泉をクリアする方法が無いのかなと。日帰り温泉でいくらという問い合わせが増えてきています。昨日も2件くらいありました。こういう問い合わせ状況もお知らせしていきますので、よろしくお願いいたします。

【高橋座長】

ありがとうございました。用意していた議題は以上で、全体を通して何かご意見・ご感想があれば頂きたいと思います。いかがでしょうか。

【北見警察署 森委員】

普段、タクシー業者の皆さまには、警察行政、交通安全対策全般に、ご協力を頂いていることに、この場を借りましてお礼申し上げます。また、家出人・各種手配等でタクシー業界の方に大変お世話になってますんで、タクシー業界の方が活性化する事を願っております。全車禁煙タクシーを実施ということですが、私もタバコ吸いませんので好印象を受けていますし、また、禁煙に絡んで、タクシー関係の問題等々を北見警察署で聞いた事がありますので、良好に推移していると思います。これからも、色々な施策をして、タクシー業界の方の利益が上がる事を願っております。

【北見労働基準監督署 高津委員】

労働者の方からの相談、詳しい件数は出していませんけれども、正直にお話ししますと、法人タクシーについては、私、4月に来てからは殆どありません。それだけ、会社の皆様方が、すごく考えてくれているのかなとっておりますので、このような形で続けて行って頂ければなとっております。何か、ご相談等あれば、いつでも私達の方にお電話頂ければ、或いは、ご来場頂ければなとっておりますので、よろしくお願い致します。

【三輪タクシー 山田委員】

うちは、夜しか動いていない会社なので台数は少ないのですが、少ないなりに皆さんと協力してやっていけたらいいなとっております。よろしくお願いいたします。

【高橋座長】

ありがとうございました。それでは、皆さんからご意見を頂きましたので、今回の予定していた議事は終了でございますけど、他に何かあれば、よろしいですか。

その他、事務局から連絡事項があれば。

【事務局長（東雲）】

本日の議事概要は、北海道運輸局のホームページその他で公開いたしますので、各委員のご理解をお願いいたします。なお、公開前に各委員へ議事録を送付しますので、ご確認をお願いします。ご理解を頂いてから公開することとなります。

今回のフォローアップ協議会については、特定事業計画（事業再構築）の実施時期が10月からですので、それから1年経過後ということで平成23年10月、11月以降の開催を予定しておりますが、詳細については改めてご連絡差し上げたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【高橋座長】

ありがとうございました。

3時ぐらい目処が、皆さん、色々ご意見を頂きまして3時半と、時間も押していますが、私の感想は、この協議会はフォローアップという形の協議会なんですが、（観光協会）高橋さんから色々情報を頂いたりですね、タクシー業界と観光協会、バス、警察も含めて、色々な形の情報共有がタクシーの活性化には重要だなと思っていますので、このメンバーだけでもいいから、何か情報があれば直ぐ回せるような形をシステムとして作って頂きたいなと思いますし、システムだけではなく、これを機会に情報共有して頂きたいなと思っています。

そういうことを含めて、「何が、適正か。」というのはなかなか難しいのですが……。適正よりも地域が活性化し、タクシー業界も活性化する。先程、儲けてなんぼという話がありましたが、業界なので、どうやって儲けていくのかよく考えていくのも、皆さんだけでなく地域も含めて、やっていければいいなと思っています。

それでは、これで議事が終了致しましたので、進行を会長の方にお返し致します。

【会長】

高橋座長におかれましては、議事の円滑な進行ありがとうございました。

皆様には、幅広く貴重な意見を本当にありがとうございました。

皆さんが、来て集まって、「連携していきたい。連携した方がいいよね。」との声が、この協議会、とっても大事なものだと思っています。本当に一番最初の会議、1回目か2回目に言ったかと思いますが、全体の協議会、分科会でも何でも結構ですので、色々な面で、会って話が出来れば、事務局なりで動きますので、是非、こういうメンバーで集まって、こんな話をしたいがありましたら、言って頂ければ、また、情報提供もこういう風にして頂ければ、観光の話でいけば、運輸局の方から各地域に連絡・情報提供も出来ますので、そういう風に使って頂ければと思っています。ハイヤーだけでなく、バスも含めた協議会という風に考えて頂いて、幅広くやりたいと思っていますので、是非、ご協力頂ければと思います。

以上をもちまして、第4回北見交通圏タクシー事業適正化・活性化協議会を閉会いたします。どうも、今日は、ありがとうございました。